

歓迎挨拶



唐津市長 坂井 俊之

皆さん、こんにちは。そしてまた、ようこそ唐津へおいでいただき、心から皆様方の歓迎を申し上げる次第でございます。日本海にぎわい・交流海道ネットワークの総会開催に当たりまして、地元開催市を代表いたしまして、一言心からの歓迎のご挨拶をさせていただきます。

遠路、この唐津の地へお越しいただき、本当にありがとうございます。今、代表代行の新潟市堀川収入役さんのほうからご紹介がありましたとおり、平成12年度の対馬市の厳原町に次いで2回目と、九州での開催は2回目とお伺いいたしておりました。平成18年度の総会をこの唐津で開催いただきましたことを、改めて市民を代表いたしまして皆様方に心より歓迎を申し上げる次第でございます。また会員の皆様方には、日頃から、港湾を核とした地域経済の発展と地域の活性化にそれぞれご尽力をいただいておりますことに対しまして、改めて敬意を表する次第でございます。

さて、現在、非常な、それぞれ、九州地方でも災害がおこっておりますし、また、中国地方等でも災害が起こっているというふうにお伺いいたしております。そしてまた今回の大雨のみならず、今年に入って、そしてまた昨年の夏から非常に大きな災害が日本に降りかかってきております。それぞれの地域の皆さん、国土交通省の皆さん、そしてまた県の皆さん、そしてまた、それぞれの市町村の皆さん方、たいへんご尽力いただきながら住民の皆様方のために、日夜、災害対策等に奔走されておりますことに、この場をお借りいたしまして、心から敬意を表する次第でございます。

さて、昨今の港湾行政の置かれている状況をみてまいりますと、国、地方を通じた厳しい財政状況の中で、港湾の施設整備には多額の経費を必要とするということから、その予算化が非常に厳しい状況でございます。しかし一方で、地方の経済活動を牽引する港湾の果たすべき役割も重要性が増しておりまして、港湾の所在する各地域におかれましては、それぞれが抱える諸問題の課題の解決に向けて、会員の皆様方も日夜ご努力をなされているものと存じます。

わが唐津港におきましても、港湾施設の老朽化、あるいは取扱貨物量の伸び悩みといった物流面での課題のほか、原風景とも言えます港湾の恵まれた自然や景観の保全と活用、あるいは市民の皆様方や唐津においていただく皆様方に身近な港湾機能の整備充実など、多くの課題を抱えておりまして、国や県のご指導をいただきながら、これからもこれらの課題の解決を図りますとともに、港を核として人々が交流し、にぎわう、まさに先ほどご紹介のありました唐津、「唐（から）の津」、「唐（とう）の津」、その再生をめざしまして、唐津の港町づくりに取り組んでいるところでございます。

このような中、地理的にも歴史的にも相互に関係の深い日本海沿岸の港湾所在都市の皆様方が本市に一堂に会され、総会やシンポジウム等を通して交流と連携を深められることはたいへん意義深いものであり、必ずやそれぞれの地域が抱えている課題解決の一助になるものと確信をいたしているところでございます。

結びになりますが、唐津は古くから、先ほど申し上げた「唐（とう）の津」、「唐（から）の津」と称され、大陸との交易・交流によって栄えてきた港町でございます。明日は現地視察も予定されているようでございますが、唐津においていただいたせっかくの機会でございますので、お時間の許す限り、港をはじめ唐津の町をどうぞご堪能いただきますように心よりお願いを申し上げたいというふうに思っております。

重ねて、日々お世話になっております国土交通省九州地方整備局鈴木部長様をはじめ、国土交通

省の方々、そしてまた、重ねて県関係の方々、さまざまご指導・ご助言等をいただきながら、実り多い本ネットワークの総会となりますことを心より祈念を申し上げる次第でございます。本ネットワーク会員相互の交流と連携が、ますますこれを機に深まりますことを祈念申し上げますとともに、改めて、本日出席の皆様方に、唐津市民を代表いたしまして、心より歓迎の意をお伝え申し上げ、簡単ではございますが私の挨拶とさせていただきます。そしてまた、堀川収入役さんには、進行の労をお取りいただきますことを心から敬意と感謝を申し上げる次第でございます。どうぞ皆様方のそれぞれの地域の港もますます発展していきますことを、心から重ねて祈念を申し上げて結ばせていただきたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。本当にありがとうございました。